

気づいたら

もう10月．

今年も残り1/3．

そして今年度は残り1/2．

東京島

なんとなく漂流というキーワードから，

十五少年漂流記みたいなものを想像しつつも

メンバに女性がいるということで，少し生々しいのかななんて思っていたら

とんでもなかった．十五少年漂流記よりはるかに現実的だった．

一気に読んで，そして気持ち悪い．

自分の中になるいろいろな嫌な感情や思考を

まざまざと見せつけられたからだろうか…

クリムゾンの迷宮を読んだときと同じような気分．

ところで，途中途中の話の連続性に疑問を感じたのは，

連載された原稿が書籍化されているからだろうか．

また，ラストが… ちょっとなあ，と若干食傷気味．